

平成 22 年度事業報告書

平成 23 年 6 月

財団法人 中部科学技術センター

平成 22 年度事業報告

平成 22 年 4 月 1 日から

平成 23 年 3 月 31 日まで

概 況

本年度は、「地域イノベーション創出研究開発事業」について応募したものの、受託に至らなかった。その他は概ね順調に事業を進めることができた。なかでも産学官連携事業では、企業ニーズや技術シーズの収集、プロジェクトのブラッシュアップを目指した研究会活動の展開、「戦略的基盤技術高度化支援事業」の新規案件の確保により、今年度も引続き中小企業の更なる技術力・競争力の強化に努め、地域産業の振興に寄与した。また、本年度新たに始まった「地域新成長産業創出促進委託事業」では、重点産業分野の国際競争力を強化するとともに地域経済を牽引する新たな成長産業の創出を目指すべく諸活動を実施した。

科学技術の普及啓発事業では、「おもしろ科学館 2010 in みずなみ」、「青少年のための科学の祭典」、「名古屋市少年少女発明クラブ」の企画・運営により、次世代を担う青少年に対し科学技術の普及啓発に努めた。また、学術奨励事業、センター顕彰事業およびグレーター・ナゴヤ環境分野海外研究者招へい事業助成の実施により、企業研究者等の顕彰・研究機関および研究者への助成に努めた。

1. 産学官連携推進事業

(1) 中小・中堅企業の自立型技術開発力支援事業

ア. 共同研究開発プロジェクトのプロデュース活動

- (ア) 地域の研究開発支援団体と協力して、大学等のシーズ発掘・収集および分析ならびに企業ニーズを踏まえた内容の拡充を行い、「システックシーズセレクション」を刊行した。
- (イ) 産学官連携プロモータが企業訪問をして「システックシーズセレクション」を配布し、企業ニーズの掘起しとともに技術シーズの周知、ニーズ、シーズのマッチングおよび共同研究開発プロジェクトの形成に努めた。(JKA 補助事業)
- (ウ) 産、学、官の連携を図るため、「テクノインダストリー・スクエア」を東海地域で開催した。

イ. イノベーション推進研究会活動 (JKA 補助事業)

平成 21 年度の「事業化評価専門家会議」において選定された有望な研究課題 5 テーマ、共同研究開発プロジェクトのプロデュース活動より発掘した研究課題 1 テーマをもとに、研究目標、研究内容、社会的貢献度、研究推進メンバー等について戦略的に検討し、提案公募型の研究開発事業等に提案した。

(ア) 「産業利用に向けた液中常温プラズマ反応場開発」

〔オーガナイザー：齋藤永宏氏(名古屋大学 教授) 活動期間：平成 22 年 4 月～23 年 3 月〕

(イ) 「健康リスク回避を目指した新規リピドーム精密解析法の開発と応用」

〔オーガナイザー：石田康行氏(中部大学 准教授) 活動期間：平成 22 年 4 月～23 年 3 月〕

(ウ) 「広帯域電磁波を用いた木質バイオマス非破壊計測技術の開発」

〔オーガナイザー：土川覚氏(名古屋大学 教授) 活動期間：平成 22 年 4 月～23 年 3 月〕

(エ) 「リサイクル型大粒径ポーラスコンクリートの海洋分野への展開」

〔オーガナイザー：前川明弘氏(三重県工業研究所主幹研究員) 活動期間：平成 22 年 4 月～23 年 3 月〕

(オ)「溶媒抽出を用いた廃潤滑油再生処理法の開発」

〔オーガナイザー：義家亮氏(名古屋大学 准教授) 活動期間：平成22年4月～23年3月〕

(カ)「球状シリカ製造装置バーナーの開発」

〔オーガナイザー：伊藤龍美氏(中央化工機株式会社営業部長) 活動期間：平成22年4月～23年3月〕

(2) 研究開発の管理運営

ア. 戦略的基盤技術高度化支援事業研究開発

「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」により認定を受けた中小企業者が、経済産業省の委託事業としてもものづくり基盤技術の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発を行う「戦略的基盤技術高度化支援事業」の研究開発プロジェクトにおいて、事業管理機関として研究開発を以下のとおり実施した。

(ア) 真空処理による溶湯改質で高強度鋳鉄の半凝固鋳造法の確立とコンパクトラインによる実用化の開発 (継続)

〔総括研究代表者：高木浩氏(クロダイト工業株式会社) 研究期間：平成20年9月～23年3月〕

(イ) トリアジンチオールを用いたクロム不要樹脂装飾めっき技術の開発 (継続)

〔総括研究代表者：曾根智隆氏(東洋理工株式会社) 研究期間：平成20年9月～23年3月〕

(ウ) 板鍛造の高度化による(省エネ・省資源指向の)トリプルカップ成形技術の開発 (継続)

〔総括研究代表者：磯村治氏(株式会社富士プレス) 研究期間：平成20年9月～23年3月〕

(エ) 環境配慮に適応した溶射技術高度化の開発 (継続)

〔総括研究代表者：中村止氏(旭金属工業株式会社) 研究期間：平成20年9月～23年3月〕

(オ) ショット・バレル複合プロセスによる長寿命歯車の加工装置の開発 (継続)

〔総括研究代表者：橋本宗到氏(橋本技術士事務所) 研究期間：平成20年9月～23年3月〕

(カ) 高性能炭素繊維織物基材の高効率製織技術開発 (新規)

〔総括研究代表者：大野和浩氏(創和テキスタイル) 研究期間：平成22年8月～25年3月〕

(キ) 軽量でリサイクル可能な自動車用衝撃吸収部品の開発 (新規)

〔総括研究代表者：田内英樹氏(株式会社ホワイトインパクト) 研究期間：平成22年8月～25年3月〕

(ク) インライン計測による溶湯炉前迅速分析・判定技術の確立 (新規)

〔総括研究代表者：中山士郎氏(株式会社ナカヤマ) 研究期間：平成22年8月～23年3月〕

(ケ) 陽電子消滅を用いたひずみ測定による熱処理後の検査を短時間に非破壊で行う技術の開発 (予備費)

〔総括研究代表者：服部兼久氏(東洋精鋼株式会社) 研究期間：平成23年2月～23年9月〕

(コ) 高機能材料を用いたセラミック-金属ハイブリッド金型の開発 (予備費)

〔総括研究代表者：熊沢猛氏(美濃窯業株式会社) 研究期間：平成23年2月～23年9月〕

(サ) ヒューマンスキルアシスト型注湯制御技術の開発 (予備費)

〔総括研究代表者：明石隆史氏(株式会社明石合銅) 研究期間：平成23年2月～23年9月〕

イ. 補完研究

平成19年度まで経済産業省の委託事業として実施してきた「地域新生コンソーシアム研究開発事業」、平成21年度まで経済産業省の委託事業として実施してきた「地域イノベーション創出研究開発事業」および「戦略的基盤技術高度化支援事業」の終了に伴い、終了したプロジェクトについて補完研究を実施し、事業化へ向けた推進を図った。また、その事業化へのアドバイス、各種展示会等への出展要請等により、成果のPR、普及に努めた。

(3) 科学技術情報の交流促進

ア. CSTCフォーラムの開催

新産業の創出及び地域産業の活性化に資するため、最新の科学技術や施策動向等をテーマとしたフォーラムを以下のとおり実施した。

- ・第80回CSTCフォーラム
テーマ 「おいしい水と機能水」 参加者：60名
- ・第81回CSTCフォーラム
テーマ 「明日を切り拓くスマートグリッド」 参加者：45名
- ・第82回CSTCフォーラム
テーマ 「自動車用電池の研究開発最前線」 参加者：158名

イ. 地域産業科学技術情報誌の刊行

中部地域8県の産業発展に寄与することを目的とし、科学技術振興に資する産業および科学技術動向ならびに国際技術交流等に関する情報や本財団の事業案内、活動報告等を広く提供するため、情報誌「CSTC NEWS」(システックニュース)を年4回発刊し、約800部を賛助会員をはじめ関係各所に配布した。

(4) 地域新成長産業創出促進事業

当地域において成長が見込まれる重点産業分野の国際競争力を強化するとともに地域経済を牽引する新たな成長産業の芽を創出し発展させるためには、地域の総力を結集した連携活動を重点的・一体的に進めることが肝要である。

そのため【技術支援・相談および専門家派遣】、【分野特化型勉強会】、【技術コーディネータの育成研修】の3つの事業を実施することにより「次世代自動車」、「航空機」、「医療機器部品」などの次世代産業分野や、新たな産業の芽に繋がる分野において技術的課題の解決やプロジェクト形成に向けた取り組みを支援した。あわせて、大学や公的研究機関等と企業をつなぎイノベーション創出を促進するコーディネータ人材の育成支援を行った。

これらの事業を通じ当地域の強みを生かした強力な地域経済の牽引役となりえる産業の芽の発掘に係る調査をした。

ア. 技術支援・相談事業および専門家派遣事業

35名の方を専門家として登録し、155社、延べ259回、延べ277人回の派遣を実施。同時に77件の技術相談を受け、内52件を中部イノベネット参画機関に対応依頼し、内38件について対応いただいた。

イ. 分野特化型勉強会

次世代産業分野に関連するテーマや、新たな産業分野の芽になるテーマについての具体的なプロジェクト形成を目的とした勉強会として、15テーマを選定し、延べ74回実施した。

ウ. 技術コーディネータの育成研修

コーディネータを対象とした、スキル向上のための研修会を延べ4回開催した。

(5) 中部イノベーション創出共同体事業

中部地域のイノベーション創出を担う公的研究機関・大学・技術支援団体の広域的連携組織として平成20年7月に結成された『中部イノベーション創出共同体』(略称：中部イノベネット)の活動を今年度も実施した。36の機関が参画し、前記競争力強化事業における技術相談に対応いただくとともに、2回の運営委員会により、機関相互の情報交換を実施し、連携強化を促した。

(6) 名古屋駅前イノベーションハブ参画事業

本事業に賛同した中部地域における産学官連携に関わる8機関が組織として連携し、技術開発の相談・特許等知的財産の活用促進・研究シーズ等の情報提供・研究のパートナーの紹介・地域情報の発信・イベントや勉強会を名古屋駅前連携拠点にて実施。

平成 22 年 3 月に愛知県産業労働センターに移転し、利便性が向上したことにより、特に企業等からの技術相談の件数が増加した。

講演会を 1 回、技術シーズ発表会を 5 回実施し、新技術に係る情報提供を実施した。参画機関のコーディネータの連絡会を 10 回開催し、機関相互の情報共有を進めた。

【参画機関】：豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋都市産業振興公社、ファインセラミックスセンター、中部経済連合会、産業技術総合研究中部センター、三重大学（平成 22 年 7 月参加）、中部科学技術センター

(7) 車載組込みシステムフォーラム（ASIF）

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）は、複雑化している車載組込みシステムに対応するため、関連する企業・大学等の参画を受け、自動車業界の最新動向、技術情報の提供、新規参入企業・若手人材育成、等を図ることにより、中部地域の車載組込みシステム産業の競争力強化するため、平成 20 年度に設立された。本年度も事務局として活動に参加した。

総会 1 回、スキルアップセミナー 5 回、応用技術セミナー 2 回、フォーラム 1 回を実施するとともに、2 ラウンドで合計 10 テーマの勉強会を実施した。また、本年度より ET ロボコン活動を開始した。九州支部も立ち上がり、勉強会を実施した。

(8) グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ事業

グレーター・ナゴヤ地域の企業群、各大学・研究機関、NPO や多様な創造的人材が経済産業活動や科学技術研究開発において、活発な国際交流を行い、あわせて内外のネットワーク・連携を拡大・深化させるためのソフトインフラを整備し、世界をリードする創造的経済社会の実現を目指し活動を展開した。

このコンセプトによる統一ブランドのもと、情報発信・コミュニケーション、多様な交流・連携の機会提供・仲介、関係機関・関係プロジェクトとの連携・調整を行なった。

(9) 国公設試験研究機関との連携活動（公設試験研究機関長会）

中部地域 8 県の 21 公設試験研究機関長及び(独)産業技術総合研究所中部センターとの連携強化を図るべく、公設試験研究機関長会を開催し、地域における科学技術振興課題の対応策、ネットワークを活用した効果的な連携活動等の検討並びに諸情報の相互交流を強化し、地域産業の育成を図った。

(10) 産学人材育成事業（航空機産業の次世代を担う工業高校生育成事業）

航空機産業に対し明確な就労イメージを有しない工業高校機械科の生徒を対象に、全国中小企業団体中央会より補助を受け、当センターが管理法人となり、中小企業における即戦力となる、ものづくりの担い手として、大学・企業等の協力を得て人材育成事業に取り組んだ。

6 月 11 日～13 日 人乗り飛行機の考案者二宮忠八の視察（愛媛県八幡浜市他）

研修① 一人乗り小型飛行機の製作

研修② 実際の航空機部品製造の現場でのインターンシップ

2. 普及啓発事業

(1) 科学技術週間行事

「発明の日」(4月18日)を中心とした科学技術週間内に、名古屋市科学館、中部原子力懇談会との共催により、一般市民を対象とする記念講演会、映像祭入選作品の上映を名古屋市科学館で開催した。

開催日 4月17日

記念講演会 テーマ:「SPRING-8の放射光」

科学技術映像祭入選作品:「巨大地震 KOBE 15秒の真実 そのとき地下で何が」

(2) エネルギー等科学技術広報活動

中部経済産業局の委託広報事業「おもしろ科学館2010 in みずなみ」に応募提案(競争入札)し、岐阜県瑞浪市の総合文化センターにおいて、本年8月13日から15日の3日間に亘り「おもしろ科学館2010 in みずなみ」を開催した。

エネルギー資源の大部分を海外に依存している我が国において、新エネルギー、省エネルギー、原子力発電等を含めた総合的なエネルギー問題、地球環境(温暖化等)問題をテーマに【グリーンエネルギーランド】と題したエネルギー広報事業を行い、我が国が抱えるエネルギー問題に関する知識の普及、理解の促進を図った。

入場者数:7,218名(3日間)

(3) 次世代層への普及啓発活動

ア. 青少年のための科学の祭典

次世代を担う青少年を対象に、実験や工作を通して、科学技術の楽しさ・面白さの体験及び発見の喜びと感動を実感する機会を提供し、科学技術の普及啓発を図った。

来場者数は、過去最高となった。

開催日 7月3日(土)~4(日)

場 所 名古屋市科学館・でんきの科学館

概 要 実験工作ブース、サイエンスステージ・ワークショップ等

演示講師数 延べ493名

来場者 17,577人

イ. モノづくり見学会

小学生年及び中学生を対象として、身の回りにある製品が、どのような生産工程を経て製品化されているのかが体感できる見学会を開催した。

開催日 8月20日

見学先 ブラザーコミュニケーションスペース、中部電力名城変電所

参加者 19名

ウ. 名古屋少年少女発明クラブ

名古屋市内の5会場において「ものづくり教室」(デリバリー教室)を開催した。

また、夏休み特別教室として「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」、「自由創作教室」を開催した。

名古屋市科学館内事業として「ものづくり工房」、「ものづくり教室」、「ロボット工房」、「ロボット教室」、「地球工房」館外活動として「出前ものづくり工房」を開催した。

ロボカップジュニア事業として「地区大会」、「東海ブロック大会」を開催した。

エ. サイエンスクラブ活動

(ア) 天文クラブ

名古屋市科学館プラネタリウム等を使用した星座に関する学習会や、夜間観望会など9回開催し、青少年と一般成人の宇宙科学に関する関心の喚起と知識の普及啓発を図った。

(イ) サイエンスクラブ

名古屋市科学館学芸員等の指導のもとに、科学実験や科学工作を行う講座を4回開催し、青少年の科学知識の普及啓発を図った。

(4) グレーター・ナゴヤ環境分野海外研究者招へい事業助成（博覧会理念継承事業）

海外の環境技術に関する研究者をグレーター・ナゴヤ地域の大学・研究機関等に招へいし、国内研究者との共同研究、交流会や成果発表等を通じて「愛・地球博」の基本理念の継承と発展に向けた活動を助成する事業を展開している。今年度からは対象地域を中部地域の8県に拡大して公募し、20件の応募があり厳正な選考審査のもと20件を採択した。

(5) 学術奨励助成事業

中部地域8県を対象とした大学、高等専門学校、研究機関等の若手研究者を対象として公募したところ、本年度は126件の応募申請があり、厳正な選考審査のもと7件名を採用し各自に助成金30万円を交付した。

(6) 科学館への協賛事業

名古屋市科学館が青少年をはじめ、広く一般市民を対象に開催した「科学創作コンクール」と「古川為三郎サイエンス講演会」行事に協賛した。

3. 表彰等事業

(1) 中部科学技術センター顕彰

創造的研究開発への意欲高揚を図り、科学技術水準の向上と中部地域における産業発展に寄与することを目的として、優れた研究開発、技術開発を行い地域産業の発展と産業技術の振興に顕著な業績を挙げた企業の研究者等を以下のとおり顕彰した。

- ・センター大賞

「冷凍サイクルと吸着技術を融合したハイブリッド除湿技術の開発」

パナソニックエコシステムズ(株) 堀 達也 藤井 泰樹 勝見 佳正

- ・センター振興賞

「冠動脈狭窄部貫通カテーテル“C o r s a i r (コルセア)”の研究開発」

朝日インテック(株) 下神 学 渡邊 允祥 清水 宏友

「配光可変型前照灯(AFS)の開発」

(株)小糸製作所 米山 正敏 松本 明浩 滝口 勉

- ・センター奨励賞

「超微結晶ダイヤモンドコーティング工具の開発」

オーエスジー(株) 羽生 博之

「スギ圧密フローリング『つよスギ』の開発」

マイウッド・ツー(株) 福山 昌男

「すべての人にやさしいドア「n e x t e r a」シリーズの研究開発」

(株)スギモト創建 杉本 昌之

(2) 公設試験研究機関研究者表彰

産業技術の研究及び業界に顕著な功績のあった中部地域公設試験研究機関の研究者表彰を以下のように実施した。

- ・産業技術総合研究所中部センター所長賞

[指導功労者]

愛知県産業技術研究所 三河繊維技術センター 大野 博

「エコ素材及び機能性織物の開発・指導並びに身障者向け繊維製品技術の開発・指導」

[研究功績者]

富山県工業技術センター 中央研究所 大永 崇

「微細成形用樹脂の研究開発とそれを用いたマイクロチップの実用化」

- ・中部科学技術センター会長賞

[指導功労者]

富山県工業技術センター 企画管理部 石黒智明

「アルマイト関連技術の高機能化・高付加価値化による地域産業への貢献および無機材料関連分野における地域企業への多大な技術支援」

[研究功績者]

名古屋市工業研究所 飯田浩史

「光合成由来バイオ材料の開発とイメージング」

石川県工業試験場 九谷焼技術センター 木村裕之

「九谷焼用無鉛和絵具の開発」

愛知県産業技術研究所 食品工業技術センター 石川健一

「乳酸菌スターターカルチャーによる低温発酵・熟成漬物の開発、ならびに天然系抗菌性素材の開発」

(3) 叙勲、国家褒章、文部科学大臣賞等の候補者推薦

科学技術分野において優れた功績を挙げられた方々を、国をはじめ各種団体表彰の候補者として推薦し、以下のとおりの結果となった。

・ 藍綬褒章	1 名
・ 文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	1 2 6 名
・ 永井科学技術財団賞「技術賞」	1 件

4. 科学技術団体の支援と連携事業

産・学・官連携強化の一環として、科学技術関係団体との交流、連携活動（事業の共催、後援等を含む）を行うとともに、17団体からの委託事務局業務を実施した。

5. 総括業務

(1) 会議の開催

理事会等機関の重要会議を以下のとおり開催した。

理 事 会	(2回)
評 議 員 会	(2回)
正・副会長会議	(1回)
企画審議委員会	(1回)
研究開発委員会	(1回)

(2) 賛助会員の拡充

本財団が実施開催する各事業を通じての勧誘の推進、未加入の地域企業等に対する幅広い理解獲得等、あらゆる機会を通して賛助会員の積極的拡充を図る努力を行ったが経済環境の激変もあり、思わしい結果は得られなかった。

1 産学官連携推進事業

項 目	実施日・場所	内 容
(1) 産学官連携による研究開発促進事業		
7. 新産業・新事業創出促進のためのプロデュース活動		
(7) 技術シーズ調査・収集、提供		
a 調査・収集	4月上旬～9月中旬	発掘・収集：865件
b システックシーズセレクション（シーズ集）作成	9月下旬～	選定：198件 (内訳) (1) 材料分野 67件 (2) バイオテクノロジー分野 18件 (3) 電子・情報通信分野 29件 (4) 機械・システム分野 19件 (5) 医療・福祉分野 28件 (6) エネルギー分野 9件 (7) 環境分野 18件 (8) その他の技術分野 10件
c 提供	10月	選定した198件を『平成22年度システックシーズセレクション（中部の技術シーズ）』として発刊（1,500部） 賛助会員企業、関係機関、提供先大学等、センター主催「テクノインダストリースクエア」イベント等で配布。
4. イノベーション推進研究会活動		
(7) イノベーション推進研究会		
a イノベーション推進研究会A [テーマ：産業利用に向けた液中常温プラズマ反応場開発]		
第1回研究会	6/9 安保ホール	1. 研究会の主旨・概要説明 2. 研究内容紹介
第2回研究会	8/3 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 「産学共同研究開発」公募事業の紹介
第3回研究会	10/13 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 事業内容紹介・討論
第4回研究会	12/14 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 公募事業への応募テーマ、内容の検討
b イノベーション推進研究会B [テーマ：健康リスク回避を目指した新規リビドーム精密解析法の開発と応用]		
第1回研究会	6/30 名古屋工業大学	1. 研究会の主旨・概要説明 2. 研究内容紹介
第2回研究会	10/12 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 「産学共同研究開発」公募事業の紹介
第3回研究会	1/14 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 公募事業への応募テーマ、内容の検討
c イノベーション推進研究会C [テーマ：広帯域電磁波を用いた木質バイオマス非破壊計測技術の開発]		
第1回研究会	8/19 安保ホール	1. 研究会の主旨・概要説明 2. 研究内容紹介
第2回研究会	11/8 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 「産学共同研究開発」公募事業の紹介
第3回研究会	1/19 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 事業内容紹介・討論
第4回研究会	3/17 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 公募事業への応募テーマ、内容の検討

項目	実施日・場所	内 容
d イノベーション推進研究会D	[テーマ：リサイクル型大粒径ポーラスコンクリートの海洋分野への展開]	
第1回研究会	6/23 三重大学	1. 研究会の主旨・概要説明 2. 研究内容紹介
第2回研究会	9/14 三重大学	1. 研究内容紹介 2. 「産学共同研究開発」公募事業の紹介
第3回研究会	11/2 三重大学	1. 研究内容紹介 2. 討論
第4回研究会	1/20 三重大学	1. 研究内容紹介 2. 公募事業への応募テーマ、内容の検討
e イノベーション推進研究会E	[テーマ：溶媒抽出を用いた廃潤滑油再生処理法の開発]	
第1回研究会	5/20 名古屋大学	1. 研究会の主旨・概要説明 2. 研究内容紹介
第2回研究会	7/28 名古屋大学	1. 研究内容紹介 2. 「産学共同研究開発」公募事業の紹介
第3回研究会	10/19 名古屋大学	1. 研究内容紹介 2. 討論
第4回研究会	12/16 名古屋大学	1. 研究内容紹介 2. 討論
第5回研究会	3/10 名古屋大学	1. 研究内容紹介 2. 公募事業への応募テーマ、内容の検討
f イノベーション推進研究会F	[テーマ：球状シリカ製造装置バーナーの開発]	
第1回研究会	9/21 中央化工機	1. 研究会の主旨・概要説明 2. 研究内容紹介
第2回研究会	11/15 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 「産学共同研究開発」公募事業の紹介
第3回研究会	12/3 安保ホール	1. 研究内容紹介 2. 公募事業への応募テーマ、内容の検討
(2) 共同研究開発の管理運営		
戦略的基盤技術高度化支援事業研究開発		
(7) 真空処理による溶湯改質で高強度鋳鉄の半凝固鋳造法の確立とコンパクトラインによる実用化の開発（継続）		
第1回研究開発委員会	4/20 クロダイト工業	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について（各委員） 他
第2回研究開発委員会	6/23 クロダイト工業	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第3回研究開発委員会	8/25 クロダイト工業	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第4回研究開発委員会	10/26 クロダイト工業	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第5回研究開発委員会	12/15 クロダイト工業	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他

項 目	実施日・場所	内 容
第6回研究開発委員会	2/9 クロダイト工業	1. 個別研究開発成果報告（各委員） 他
(イ) トリアジンチオールを用いたクロム不要樹脂裝飾めっき技術の開発（継続）		
第1回研究開発委員会	8/2 小川工業	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について（各委員） 他
第2回研究開発委員会	3/16 小川工業	1. 個別研究開発成果報告（各委員） 他
(ウ) 板鍛造の高度化による（省エネ・省資源指向の）トリプルカップ成形技術の開発（継続）		
第1回研究開発委員会	6/8 富士プレス	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について（各委員） 他
第2回研究開発委員会	9/24 富士プレス	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第3回研究開発委員会	11/29 富士プレス	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第4回研究開発委員会	2/2 駅前ハブ	1. 個別研究開発成果報告（各委員） 他
(エ) 環境配慮に適応した溶射技術高度化の開発（継続）		
第1回研究開発委員会	5/28 安保ホール	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について（各委員） 他
第2回研究開発委員会	9/7 安保ホール	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第3回研究開発委員会	12/10 安保ホール	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他
第4回研究開発委員会	2/4 安保ホール	1. 個別研究開発成果報告（各委員） 他
(オ) ショット・バレル複合プロセスによる長寿命歯車の加工装置の開発（継続）		
第1回研究開発委員会	4/28 旭千代田工業	1. 平成22年度全体実施計画、体制について 2. 今後の進め方（委員会開催スケジュール等）、個別研究開発（歯車加工の状況等）について（各委員） 他
第2回研究開発委員会	10/6 パーカーコーレション	1. 個別研究開発（歯車加工の状況等）、今後の進め方について（委員会開催スケジュール等）（各委員） 他 2. 今年度上期実績報告の提出について
第3回研究開発委員会	2/10 パーカーコーレション	1. 個別研究開発成果報告（各委員） 他
(カ) RCS樹脂の蒸着化による鋳造用中子成型プロセスの開発（継続）		
第4回研究開発委員会	5/14 碧南ものづくりセンター	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他 2. 成果報告書のまとめ方について
(キ) 高性能炭素繊維織物基材の高効率製織技術開発（新規）		
第1回研究開発委員会	8/31 東レ 名古屋	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について（各委員） 他
第2回研究開発委員会	12/2 創和テキスタイル	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について（各委員） 他

項 目	実施日・場所	内 容
第3回研究開発委員会	3/14 創和テキスタイル	1. 個別研究開発成果報告(各委員) 他
(f) 軽量でリサイクル可能な自動車用衝撃吸収部品の開発(新規)		
第1回研究開発委員会	8/30 下田工業茨木	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について(各委員) 他
第2回研究開発委員会	12/9 下田工業茨木	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について(各委員) 他
第3回研究開発委員会	3/3 下田工業茨木	1. 個別研究開発成果報告(各委員) 他
(g) インライン計測による溶湯炉前迅速分析・判定技術の確立(新規)		
第1回研究開発委員会	9/29 ナカヤマ	1. 平成22年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について(各委員) 他
第2回研究開発委員会	11/29 ナカヤマ	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について(各委員) 他
第3回研究開発委員会	1/26 ナカヤマ	1. 個別研究開発報告、今後の進め方について(各委員) 他
第4回研究開発委員会	2/22 ナカヤマ	1. 個別研究開発成果報告(各委員) 他
(h) 陽電子消滅を用いたひずみ測定による熱処理後の検査を短時間に非破壊で行う技術の開発(新規)		
第1回研究開発委員会	3/24 東洋精鋼	1. 平成22および23年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について(各委員) 他
(i) 高機能材料を用いたセラミックス-金属ハイブリッド金型の開発(新規)		
第1回研究開発委員会	3/14 美濃窯業	1. 平成22および23年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について(各委員) 他
(j) ヒューマンスキルアシスト型注湯制御技術の開発(新規)		
第1回研究開発委員会	3/22 安保ホール	1. 平成22および23年度全体遂行計画、目標について 2. 今後の進め方の討議・個別研究開発計画について(各委員) 他
(3) 科学技術情報の交流促進		
ア CSTCフォーラムの開催		
第80回 (第98回東海技術サロン) 参加者: 60名	9/17 今池ガスビル	1. テーマ 「おいしい水と機能水」 (1) 講演Ⅰ「なごやのおいしい水」 講師: 名古屋市上下水道局経営本部企画課 主査 杉本 智美 (2) 講演Ⅱ「浄水器の最新技術-中空糸膜の現状と新展開-」 講師: 東レ株式会社 アメニティ生産部 上阪 努 (3) 講演Ⅲ「天然水および物理的処理水のミスの会合構造の評価」 講師: 岐阜薬科大学 教授 近藤 伸一 2. 交流会 [共催: 東海化学工業会、化学工学会東海支部]
第81回 (科学技術推進) 参加者: 45名	12/6 名古屋ガーデンパレス	1. テーマ 「明日を切り拓くスマートグリッド」 (1) 講演Ⅰ「スマートグリッドの仕組みと今後の動向」 講師: (財)電力中央研究所システム技術研究所 上席研究員 小林 広武 (2) 講演Ⅱ「エネルギーの情報化とスマートグリッド」 講師: 京都大学大学院 情報学研究科 教授 松山 隆司

項 目	実施日・場所	内 容
第82回 (第23回中部科学技術交流会) 参加者：158名	1/14 名古屋銀行協会	1. テーマ 「自動車用電池の研究開発最前線」 (1) 講演Ⅰ「自動車用革新電池への期待」 講師：トヨタ自動車株式会社 電池研究部 部長 射場 英紀 (2) 講演Ⅱ「理論的計算化学から見た電池の可能性」 講師：東北大学 未来科学技術共同研究センター センター長 宮本 明 (3) 講演Ⅲ「全固体リチウム電池への期待と展望」 講師：物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクニクス P I 高田 和典 2. 交流会 共催：(財)科学技術交流財団、(財)日比科学技術振興財団、(独)科学技術振興機構 J S T イノベーションプラザ東海
イ 地域産業科学技術情報誌 (C S T C NEWS) の刊行		年4回 各800部発刊・配布
No.193	5月	「平成21年度グレート・ナゴヤ環境分野海外研究者招へい事業助成」の選考結果 「平成22年度事業計画及び収支予算書(概要)について」他
No.194	7月	学術奨励研究助成事業募集 新役員の紹介 他
No.195	10月	平成21年度地域イノベーション創出研究開発事業終了プロジェクト紹介 戦略的基盤技術高度化支援事業研究開発成果 他
No.196	1月	平成22年度戦略的基盤技術高度化支援事業の採択について 平成22年度システックシーズセレクション(中部の技術シーズ)の刊行 他

項目	実施日・場所	内 容
(4) 車載組込みシステムフォーラム (A S I F)		
総会および講演会 参加：79名	4/23 愛知県産業労働センター	1. 総会 総会議案 第1号：2009年度 事業報告・決算報告・監査報告 第2号：2010年度 役員選任について 第3号：2010年度 事業計画および収支予算について 2. 2009年度勉強会活動報告 副会長 アイシン精機株式会社 鈴木延保 各勉強会リーダー ・勉強会趣旨説明 ・2009年度活動内容 ・2010年度勉強会概要案内 3. 特別講演：「車載制御システムにおける大規模ソフトウェア設計の課題」 トヨタ自動車株式会社 制御ソフトウェア開発部 部付 主幹 城戸 正利
第1回スキルアップセミナー 参加：140名	6/1 名古屋栄ビルディング	【テーマ】国内初！機能安全ソフトウェアのTUV認証取得への道のり 1. 「国内初！機能安全ソフトウェアのTUV認証への道のり」 講師： 講師：株式会社ヴィッツ 品質保証室 室長補佐 森川 聡久様 2. 「安全分析と形式手法」 講師：名古屋工業研究所 電子情報部 情報・デバイス研究室 主任研究員 小川 清様 3. 「機能安全の動向と将来」 講師：株式会社日本機能安全 取締役 吉岡 律夫様 4. 「TUV認証の四方山話」 講師：株式会社ヴィッツ 取締役 服部 博行様
第2回スキルアップセミナー 参加：141名	6/30 名古屋銀行協会	【テーマ】中部地区から発進しよう！次世代自動車 1. 「中部地域における次世代自動車クラスターの形成に向けて」 講師：経済産業省 中部経済産業局 地域経済部 地域経済部長 岡田 武様 2. 「スマートグリッドに関する国内外動向」 講師：(財)エネルギー総合研究所 プロジェクト試験研究部 副部長 徳田 憲昭様 3. 「次世代自動車と社会を結ぶスマートグリッド」 講師：ルネサスエレクトロニクス株式会社 自動車事業統括部 担当部長 大垣 健二様 4. 「つながる車 (Vehicles in Networks)」 講師：名古屋大学 大学院環境学研究所 教授 森川 高行様
第3回スキルアップセミナー 参加：95名	7/30 愛知県産業労働センター	【テーマ】車載組込み開発を革新する上流設計セミナー 1. 「上流設計におけるモデル設計・モデル検証・モデル検査・モデル管理」 講師：キャット株式会社 取締役副社長 渡辺政彦 様 2. 「大規模時代におけるアーキテクチャ設計」 講師：株式会社デンソー 電子プラットフォーム開発部 主幹 岩井明史 様
第4回スキルアップセミナー 参加：72名	9/9 愛知県産業労働センター	【テーマ】Eclipseは車載組込みソフトウェア開発を革新する 1. 「Eclipseの概要と実際」 講師：富士通株式会社 ミドルウェア事業本部組込みソフトウェアテクノロジー事業部 プロフェッショナルプロダクトエンジニア 森出 茂樹 様 講師：富士通セミコンダクター株式会社 マイコンソリューション事業本部自動車事業部ソフトウェア開発部 技師・ソフトウェアアーキテクト 五十嵐 純 様 2. 「Eclipseを組込みの教育および実開発で使うために ～PizzaFactory開発の経験から～」 講師：合資会社もなみソフトウェア 代表役員 邑中 雅樹 様 3. 「AUTOSAR開発環境としてのEclipse活用」 講師：株式会社デンソー 電子プラットフォーム開発部 先行技術開発室 佐藤 洋介 様
第5回スキルアップセミナー 参加：107名	11/18 栄ガスビル	【テーマ】宇宙ステーション計画に学ぶソフトウェアIV&Vの実践 1. 「戦略的IV&Vとその効果」 講師：独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 情報・計算工学センター 開発員 松本 勉様

項 目	実施日・場所	内 容
第1回応用技術セミナー 参加：25名	1/18 愛知県産業労働センター	2. 「IV&V技術詳説とIV&V成功の秘訣」 講師：有人宇宙システム株式会社 安全開発保証部 副主任技師 加藤 淳様 【テーマ】ESPR開設（基礎編・演習付き） 講師：(独)情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター（IPA/SEC） 専門委員：村松 昭男 様 研究員：松田 充弘 様 【講義】ESPR：「組込みソフトウェア向け開発プロセスガイド」の解説 【演習】開発プロセスの組み立て方演習（グループ演習）
第2回応用技術セミナー 参加：25名	3/8 ルネサスエレクトロニクス(株)	【テーマ】ソフトウェア技術者のためのハードウェア講義および実習 【講師】株式会社サニー技研 田中 稔様
車載組込みシステムフォーラム2011 参加：約280名	3/2 名古屋国際会議場	講演・ASIF 活動紹介 「車載組込みシステム開発の現状とASIFの活動」 車載組込みシステムフォーラム会長/ 名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授/附属組込みシステム研究センター長 高田 広章 招待講演(1) 「モビリティロボットの実用化に向けて」 トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット部 ロボット製品プロジェクト推進室 電子技術GM (グループマネージャー) 山田 耕嗣 氏 特別講演 「自動走行自動車(self driving cars)の開発」 カーネギーメロン大学 教授/グーグル シニアスタッフエンジニア クリス アームソン 氏 招待講演(2) 「自動運転・隊列走行の開発」 財団法人日本自動車研究所 ITS研究部 研究主幹 自動運転・隊列走行 プロジェクトリーダー 青木 啓二 氏 招待講演(3) 「つくばチャレンジ - 街の中を走行する自律移動ロボットの公開実験 -」 筑波大学 システム情報工学研究科 教授 油田 信一 氏
勉強会 (第1ラウンド)	6月～8月	①CAN通信仕様：参加者数(13名) 2回 ②モデルベース(UML/状態遷移表)：参加者数(13名) 6回 ③車載開発プロセス：参加者数(12名) 6回 ④機能安全：参加者数(16名) 3回
勉強会 (第2ラウンド)	11月～2月	①CAN通信仕様：参加者数(20名) 2回 ②FlexRay通信仕様：参加者数(10名) 6回 ③LIN通信仕様：参加者数(11名) 2回 ④MISRA-C(1998)：参加者数(10名) 2回 ⑤車載開発プロセス：参加者数(23名) 6回 ⑥仕様記述言語：参加者数(14名) 4回
ETロボコンクラブ 参加者：11名		会合回数：11回
九州支部勉強会		テーマ：CANプロトコルの基礎 5回開催、参加者：16名 場所：(財)福岡県産業・科学技術振興財団会議室

項目	実施日・場所	内 容
(5) 地域新成長産業創出促進事業		
ア. 技術支援・相談事業および専門家派遣事業		<p>・35名の方を専門家として登録、155社へ派遣を行い、77件の技術相談に対応した</p> <p>※技術相談77件のうち52件を中部イノベネットへ配信、このうち38件を中部イノベネット参加機関にて対応頂いた。</p> <p>※派遣実績は平成22年8月から平成23年2月の7カ月間で、155社、延べ259回、延べ277人回</p> <p>専門家の技術分野</p> <p>・食品分野（1名） ・繊維分野（1名） ・化学分野（2名） ・エネルギー分野（2名）</p> <p>・プラスチック分野（1名） ・セラミックス分野（3名） ・金属分野（6名） ・機械分野（5名）</p> <p>・電子・電気機器分野（2名） ・IT分野（2名） ・航空機分野（2名） ・医療機器分野（2名） 以上35名</p>
イ. 分野特化型勉強会	9/27 安保ホール	<p>第1回専門家技術アドバイザー会議</p> <p>21名参加（内アドバイザー17名）</p>
	11/29	<p>第2回専門家技術アドバイザー会議</p> <p>19名参加（内アドバイザー15名）</p>
	7/26	<p>7/1～7/14テーマ応募案件29件より事業推進委員にて採択審議</p> <p>15テーマ勉強会実施回数</p> <p>① G V（グリーンビークル）マテリアルイノベーションの戦略マップ策定・ロードマップ作成およびそれらの「見える化」勉強会実施回数 9回</p> <p>② 自動車部材用環境負荷低減プラスチック材料に関する勉強会 勉強会実施回数 3回</p> <p>③ 当地域における次世代自動車蓄電池用電解質関連プロジェクトの形成に向けて 勉強会実施回数 7回</p> <p>④ 次世代自動車産業を支える従来エンジン技術の課題検証と持続可能性に向けた検討 勉強会実施回数 6回</p> <p>⑤ ITSとスマートフォンによる次世代自動車向けサービス創出事業 勉強会実施回数 6回</p> <p>⑥ CFRP穿孔加工の作業環境改善に対応する冷却・吸塵機能を備えたシステムの開発 勉強会実施回数 4回</p> <p>⑦ リハビリテーション実務者ニーズによる機器開発のための勉強会 勉強会実施回数 6回</p> <p>⑧ 介護・福祉関連産業における市場開拓・販路拡大手法及びそのための製品開発手法勉強会 勉強会実施回数 4回</p> <p>⑨ 透明色素増感型太陽電池における工業プロセスを生かした生産方法のプロジェクト化に関する勉強会 勉強会実施回数 3回</p> <p>⑩ ホログラムメモリ懇話会－実用化と標準化に向けた産官学コンソーシアム形成を目指して 勉強会実施回数 5回</p> <p>⑪ 次世代産業のための高周波信号利用に関する調査研究 勉強会実施回数 5回</p> <p>⑫ 次世代機器のための無機/有機ハイブリッド材料に関する勉強会 勉強会実施回数 5回</p> <p>⑬ 超精密加工技術による高機能製品開発のための研究会 勉強会実施回数 3回</p> <p>⑭ 水蒸気の超燃焼技術を使った次世代新産業創出勉強会 勉強会実施回数 5回</p> <p>⑮ 次世代型セラミックス開発による低炭素化社会への貢献 勉強会実施回数 5回</p>
中間報告会		
第1回	11/25 愛知県産業労働センター (参加：19名)	<p>平成22年度分野特化型勉強会事業進捗状況報告</p> <p>7テーマの報告と審議 (上記⑦、⑭、①、⑫、④、⑪、⑨の勉強会)</p>
第2回	12/2 愛知県産業労働センター (参加：18名)	<p>平成22年度分野特化型勉強会事業進捗状況報告</p> <p>8テーマの報告と審議 (上記⑩、⑮、⑤、③、②、⑧、⑬、⑥の勉強会)</p>
成果発表会	2/16 愛知県産業労働センター (参加：94名)	<p>分野特化型勉強会事業成果発表会</p> <p>全15テーマ 口頭発表・パネル発表 (上記①～⑮の勉強会)</p>
ウ. 技術コーディネータの育成研修		
基礎コース東海	10/14 名古屋駅前1/ベ・マシナボ	<p>1. コーディネータ人材育成に係る調査の報告</p> <p>2. コンピテンシーの基礎</p>

項目	実施日・場所	内 容
基礎コース北陸	(参加：15名)	3. 自己の振り返りとコンピテンシーの理解 4. まとめ
	11/12 金沢商工会議所中小企業会館 (参加：6名)	同上
応用コース東海	12/7 名古屋駅前イノベーション (参加：13名)	1. セルフアセスメント研修（基礎）のふりかえり 2. コーディネート活動のふりかえり 3. コーディネート活動とコンピテンシー 4. まとめ
応用コース北陸	12/14 金沢商工会議所中小企業会館 (参加：3名)	同上
エ. 委員会等		
運営委員会 第1回	8/3 愛知県産業労働センター (参加：44名)	1. 中部地域競争力強化事業規約等について 2. 委員長及び副委員長の選出について 3. 技術支援・相談事業について 4. 分野特化型勉強会について 5. 技術コーディネータ人材育成について 6. 広報について 7. その他
第2回	2/18 ミッドランドホール (参加：36名)	1. 技術相談・専門家派遣事業報告 2. 技術コーディネータ人材育成事業報告 3. 分野特化型勉強会事業報告 4. 中部地域競争力強化事業取り組みについて 5. その他
事業推進委員会 第1回	9/7 名古屋駅前イノベーション (参加：11名)	1. 技術相談・専門家派遣事業について 2. 技術コーディネータ人材育成について 3. 平成22年度地域新成長産業創出促進委託事業 (地域産業の競争力強化を目指した新産業発掘のための調査) 実施スケジュールについて 4. その他
第2回	10/26 中部科学技術センター会議室 (参加：9名)	1. 技術相談・専門家派遣事業について 2. 技術コーディネータ人材育成事業について 3. 分野特化型勉強会進捗状況 4. その他
第3回	12/2 愛知県産業労働センター (参加：10名)	1. 分野特化型勉強会 中間報告会に関する意見交換 2. 成果発表会について 3. 技術相談・専門家派遣事業について 4. 最終報告書「新産業の芽の発掘とりまとめ」について
第4回	2/8 名古屋駅前イノベーション (参加：9名)	1. 技術相談・専門家派遣事業実施報告 2. 技術コーディネータ人材育成事業報告 3. 技術コーディネータ人材育成事業報告 4. 分野特化型勉強会事業成果発表会についての審議 5. 事業の取り組みについての審議
事務局打合せ	月1回程度 中部経済産業局 産総研中部センター等	第1回：6/15(7名参加), 第2回：7/26(8名参加), 第3回：8/11(5名参加), 第4回：8/25(7名参加), 第5回：9/22(8名参加), 第6回：10/19(8名参加), 第7回：11/19(8名参加), 第8回：12/22(6名参加), 第9回：1/20(7名参加), 第10回：2/27(8名参加), 第11回：2/14(8名参加), 第12回：2/17(6名参加)

項 目	実施日・場所	内 容
(6) 中部イノベーション創出共同体形成事業		
運営委員会		
第1回	8/3 愛知県産業労働センター (参加：44名)	1. 中部イノベーション創出共同体の平成22年度事業（案）についての審議 2. 中部イノベーション創出共同体規約の改正（案）についての審議 3. 中部イノベネット技術相談事業について
第2回	2/18 ミッドランドホール会議室 (参加：35名)	1. 平成22年度中部イノベーション創出共同体事業報告 2. 平成23年度中部イノベーション創出共同体事業計画（案）についての審議
技術相談		中部地域競争力強化事業からの技術相談案件をネットワークに配信、参加機関による対応を行った

項 目	実施日・場所	内 容
(7) 名古屋駅前イノベーションハブ事業		
事業検討部会		
第6回	5/18 名古屋駅前イノベーションハブ (参加：15名)	1. 平成21年度事業報告及び収支決算についての報告 2. 平成22年度事業計画及び収支予算についての審議 3. 参加機関連携支援事業について 4. 技術支援機関等の参画方法について 5. セミナー等開催支援事業の採択審査 6. 会議室使用時間の延長について
第7回	1/13 名古屋駅前イノベーションハブ (参加：15名)	1. 平成21年度事業経過報告について 2. セミナー支援事業の結果報告について 3. 平成22年度予算執行状況 4. 名古屋駅前イノベーションハブ技術シーズ発表会について
CDR連絡会議	月1回原則第3木 名古屋駅前イノベーションハブ (参加：20名程度)	第21回：4/15、第22回：5/20、第23回：6/15、第24回：7/15、第25回：9/15、 第26回：10/12、第27回：11/18、第28回：1/20、第29回：2/25、第30回：3/17 1. 参加機関CDR情報交換 2. 技術相談事例紹介
セミナー等開催支援事業	6/29 名古屋駅前イノベーションハブ (参加：18名)	「国内クレジット勉強会」環境ビジネスシンポジウム：豊橋技術科学大学 講演：「国内クレジット制度について」他 ディスカッション
技術シーズ発表会		
第1回	6/9 愛知県産業労働センター (外部：39名)	第1回名古屋駅前イノベーションハブ技術シーズ発表会 第2回産総研マグネシウムシンポジウム 特別講演：「構造部材としての利用に向けてのマグネシウム合金展伸材の合金と製造プロセスの進歩」他 意見交換会
第2回	8/23 名古屋駅前イノベーションハブ (外部：35名)	第2回名古屋駅前イノベーションハブ技術シーズ発表会 産総研の次世代自動車、航空・宇宙関連産業に関する技術シーズ 講演：「ハイブリット電源搭載用マイクロ燃料電池製造技術」他
第3回	10/5 名古屋駅前イノベーションハブ (外部：31名)	第3回名古屋駅前イノベーションハブ技術シーズ発表会 実用化に近づいた熱電変換技術～材料の高性能化とモジュール化 講演：「セラミックス熱電材料の研究動向と将来展望」他
第4回	12/13 名古屋駅前イノベーションハブ (外部：30名)	第4回名古屋駅前イノベーションハブ技術シーズ発表会 次世代電池関連技術～次世代自動車等への応用を見据えて～ 講演：「次世代型高容量電池 ーリチウム空気二次電池ー」他
第5回	2/14 名古屋駅前イノベーションハブ (外部：23名)	第5回名古屋駅前イノベーションハブ技術シーズ発表会 住宅用建材関連技術～省エネルギー住宅に向けて～ 講演：「サブテナブルマテリアル研究部門の建材研究の概要」他
記念講演会	3/18 愛知県産業労働センター	名古屋駅前イノベーションハブオフィス移転1周年記念講演会 ～中部地域におけるイノベーション創出のためには～ 特別講演「大学と産学官連携の現状と将来」

項目	実施日・場所	内 容
(8) グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ事業		
7. 在日米国商工会議所 (ACCJ) 中部支部ウォークサンプレイベント		
参加90名	5/22 ヒルトン名古屋	在日米国商工会議所 (ACCJ) 中部支部との共催で、ACCJの歓迎レセプションを開催
イ. ファンボロー国際航空宇宙展2010 GNIセミナー		
	7/19～25 英国・ファンボロー空港	航空宇宙展会期中、海外企業・団体訪問者を対象にGNI地域PRセミナーを開催 GNIセミナースケジュール 7月19日(月) ①GNIグループ・セミナー 7月20日(火) ①GNIセミナー 7月21日(水) ①GNIグループ5. GNIセミナースケジュール： 7月22日(木) ①GNIグループ・セミナー 7月23日(金) ①GNIセミナー
ウ. 留学生対象GNI産業観光ツアー		
	9/21	岐阜大学留学生を対象に岐阜車体工業(株)のインダストリアルツアーを開催 岐阜大学留学生26名参加
	10/22	名工大学留学生を対象にトヨタ自動車(株)元町工場のインダストリアルツアーを開催 名工大学留学生32名参加
	1/14	名工大学留学生を対象にスズキ自動車歴史館のインダストリアルツアーを開催 名工大学留学生25名参加
エ. 各種展示会におけるGNIブース出展		
	10/27～30 ポートメッセなごや	・メッセナゴヤ2010(名古屋) 来場者数：延べ43,000名 出展社・団体：450社・団体
	3/1～4 幕張メッセ	・FOODEX JSPAN2011(東京)
オ. 海外へのミッション派遣		
	7/19～25	・ファンボロー国際航空宇宙展2010ミッション(イギリス)
	11/9～13	・中国国際工業博覧会2010ミッション(上海)
	7/5～11	・欧州産業観光事情調査ミッション(ドイツ・フランス)
	12/13～16	・I-BAC台湾ミッション
カ. 次世代モビリティ国際フォーラム中部2011		
	3/1～2 名古屋国際会議場 (併設会場：金山 総合駅コロシアム)	テーマ：次世代モビリティが拓くスマート社会を目指して 3/1 シンポジウム 3/2 《特別講演会》 GNIフォーラム 次世代自動車を巡る世界の潮流 共催：中部地方整備局、(財)貿易研修センター、(財)人工知能研究振興財団 グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会(GNIC)、次世代自動車地域産学官フォーラム 車載組込みシステムフォーラム(ASIF)
キ. 第6回グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会		
	3/8 ホテルグリーンパーク津	(1) 2010年度事業及び収支決算報告 (2) 2011年度事業及び収支予算計画 (3) グレーター・ナゴヤ・イニシアティブの取り組みについて(意見交換)

項 目	実施日・場所	内 容
(9) 国公設試験研究機関との連携活動		
ア. 中部公設試験研究機関長会	2/23 ウインクあいち 1301会議室 名古屋駅前拠点会議室	1. 会議 (1) 討議 「今後の事業運営、研究者表彰について」 (2) 講演 「名古屋駅前イノベーションハブの今後の事業運営について」 (3) 講演 「技術開発への支援策と中部地域産業政策について」 2. 交流会
(10) 産学人材育成事業		事業名：航空機産業の次世代を担う工業高校生育成事業 (航空機産業に対し明確な就労イメージを有しない機械科の工業高校生を対象にした人材育成。) 研修①一人乗り小型飛行機の製作 ②実際の航空機部品製造の現場でのインターンシップ
第1回委員会	6/24 名古屋市科学館	1) はじめに 2) 事業のあらまし 3) 受講生の募集について
第2回委員会	9/30 名古屋市科学館	1) はじめに 2) 「航空機産業の次世代を担う工業高校生育成事業」の進行状況について(報告) 3) 航空機産業と雇用の現状について
第3回委員会	2/2 名古屋市立工業高等学校	1) はじめに 2) 「航空機産業の次世代を担う工業高校生育成事業」の進行状況について(報告) 3) 一人乗り小型飛行機の製作機の公開フライトに向けて
<研修1>	6/11~13 愛媛県八幡浜市他 7/23、26、27 光生アルミニウム工業(株) 8/19 宇宙航空研究開発機構	・人乗り小型飛行機の製作と問題解決：二宮忠八関連調査 ・アルミ溶接に関する技能習得 ・二宮飛行機の空力設計
<研修2>	8/27 ベストテック(株) 7/28、29、30 (株)和田製作所 8/5、6 ベストテック(株) 8/16、17、18 (株)エアロ 8/23、24、25 中日本航空専門学校	・二宮飛行機設計案に対する強度計算支援 ・航空機部品の製作技能習得 ・設計ソフトCATIAを使った航空機設計 ・航空機の組立に関する技能習得 ・航空機エンジンの整備に関する技能

2 普及啓発事業

項目	実施日・場所	内 容
(1) 科学技術週間行事		
ア 記念講演会 参加者：155名	4/17 名古屋市科学館	1. テーマ：「SPRING-8 (スプリング・エイト) の放射光」 2. 講 師：財団法人高輝度光科学研究センター 常務理事 山川 晃 [共催：名古屋市科学館、中部原子力懇談会]
イ 科学技術映像祭入選作品発表会 参加者：155名	4/17 名古屋市科学館	1. 第51回科学技術映像祭の入選作品の中から、内閣総理大臣賞を受賞した下記を放映 『NHKスペシャル「MEGAQUAKE(メガクエイク) 巨大地震」第2回 KOBE 15秒の真実 そのとき地下で何が』 [共催：名古屋市科学館、中部原子力懇談会]
(2) エネルギー広報活動		
ア おもしろ科学館2010 in みずなみ 入場者数：7,218名	8/13～15 瑞浪市総合文化センター	サブタイトル：【グリーンエネルギーランド】 [主催：経済産業省中部経済産業局・瑞浪市] 1. インフォメーション 2. サイエンス発見ランド 3. グリーンエネルギー発見ランド 4. 電気エネルギー発見ランド 5. 光と音のランド 6. 地球エコランド 7. おもしろ工作ランド整理券配付工作コーナー。 8. おもしろ工作ランド随時参加工作コーナー。 9. メルヘンの世界バルーンアートランド 10. 身近な放射線発見ランド 11. 超深地層ランド 12. 地震科学ランド 13. エネルギー・原子力発電・地球環境の学習 14. 来場者アンケート 15. クイズラリー
(3) 次世代層への普及啓発活動		
ア 青少年のための科学の祭典2010・名古屋大会 開催 入場者：17,577人	7/3～7/4 名古屋市科学館 でんきの科学館	1. 実験工作ブース 2. サイエンスステージ・ワークショップ 演示講師数 延べ493名 [共催：「青少年のための科学の祭典2010」名古屋大会実行委員会、名古屋市科学館、(財)日本科学技術振興財団・科学技術館、中日新聞社]
第2回実行委員会 15名	8/25 名古屋市科学館	1. 開催結果の審議 2. 次年度開催について
ウ 先端研究施設見学会 参加者：49名	11月17日 (株)東レ オートモーティブセンター	車体軽量化対応材料、成形などの製造設備など
イ モノづくり見学会 参加者：19名	8/20 名古屋市瑞穂区ほか	1. 見学会 (対象：小学4～中学3年生) (1) プラザ・コミュニケーションベース (名古屋市瑞穂区塩入町5番15号) (2) 中部電力名城変電所 (名古屋市中区三の丸一丁目3番地)
ウ 名古屋少年少女発明クラブ (ア) ものづくり教室 (ゼリハリ)	毎週土曜・日曜 市内5会場 (開催日数：45日)	会場：天白会場、瑞穂会場、中川会場、西会場、千種会場 1. 「走り出すと発電する車」の製作。延べ参加者：352名 2. 「メロディを奏でながら走るクリスマスツリー」の製作。延べ参加者：340名 3. 「二足歩行ロボット」の製作。延べ参加者：338名
(イ) ものづくり工房 4月～7月、3月	毎週土曜日午後 (開催日数：20日) 名古屋市科学館	1. 誰でもできる簡単な科学工作。 2. 参加費：無料 延べ参加者：2,581名

項 目	実施日・場所	内 容
(ウ) ものづくり教室 4月～7月	毎月第3土曜日 (開催日数:4日) 名古屋市科学館	1. 教材を使って科学の原理を学びながらつくる科学工作。 2. 参加費:有料 延べ参加者:96名
(エ) 出前ものづくり工房	開催日数:18日 市内小学校他	1. ものづくり工房・教室の出前授業 2. 年間16ヶ所 延べ参加者:1,581名
(オ) ロボット工房 4月～7月 9月～2月	毎週日曜日 名古屋市科学館 名古屋中小企業会館 (吹上ホール)	1. ロボットの組立、プログラミングの学習、サッカー競技。 2. 参加者:2,495名 無料
(カ) ロボット教室 a 学校会場	植田中学校 若水中学校 豊正中学校	1. ロボットの組立、プログラミングの学習。 2. 参加者:32名
b 科学館会場 4月～8月	毎月第3日曜日 名古屋市科学館 (開催日数:5日)	1. ロボットの組立、プログラミングの学習。 2. 会費制 参加者:43名
(キ) ロボカップジュニア大会		
a ジャパンオープン	5/3～5 大阪工業大学	1. ロボットサッカー競技、ロボットダンス、ロボットレスキュー 2. 参加者:サッカー9チーム、ダンス3チーム、レスキュー8チーム
b なごやオープン ・なごや大会	12/18・19 ブラザー工業体育館	1. ロボットサッカー競技 2. 参加者: 64名
c 東海ブロック大会	2/12(土) 愛知工業大学(八草)	1. ロボットサッカー競技、ロボットダンス、ロボットレスキュー 2. 参加者: 150名
(ク) 地球工房 4月～10月 3月	毎週土・日曜日 名古屋市科学館 (開催日数:35日)	1. 顕微鏡による鉱物の観察、標本を使った簡単な工作、地球の成立ちに関する学習。 2. 参加者:1,989名 有料
(ケ) 自由創作教室	8/10・23・24 8/26・27 愛知工業大学(本山)	1. 昨年度までの少年少女発明クラブ会員を中心に生徒を募集 2. 創造力を養うため、夏期に子供達が自由な発想で工作を行なう。 3. あいち少年少女創意くふう展に出品 参加者:25名
(コ) 全国少年少女 チャレンジ創作コンテスト	8/10・23・24 8/26・27・29 愛知工業大学(本山) 名古屋中小企業会館 (吹上ホール)	1. (社)発明協会の全国展開事業。全国同ジャンル・課題(ハイブリットカー)をチーム単位で製作し、競技をする。 チームワークの大切さを体験し、課題に対する問題解決力を高める。 2. 地区大会として参加。昨年度までの少年少女発明クラブ会員を中心に生徒を募集 3. 参加者:3チーム、9名
エ サイエンスクラブ		
a 小学生クラス 232名	5月～7月 3回 名古屋市科学館	1. 水をきれいにしよう 2. 高感度電気テスターを作ろう 3. 簡単アニメーションを作ろう
b 中学生クラス 70名	5月～7月 3回 名古屋市科学館	1. 黄銅のアクセサリをつくろ 2. 光通信機をつくろ 3. 石の万華鏡をつくろ
オ 天文クラブ	H22年度会員数 名古屋市科学館	575名 1. 宇宙の始まりを考える(5月27日・28日) 参加者:315名 2. さよならツァイスIV(8月26日) 参加者329名 3. ようこそ新プラネタリウム 参加者:345名

項目	実施日・場所	内 容
(4) グレーター・ナゴヤ環境分野海外研究者招へい	10月公募開始 12月応募締切 1 / 1 5	20件の応募 選考審査委員会にて20件採択
(5) 中部科学技術センター学術奨励研究助成事業	5月公募開始 9月公募締め切り 1 1 / 2 6	126件の申請 選考審査委員会にて7件採択
(6) 協賛事業等		名古屋市科学館行催事との共催等
7. 科学創作コンクール	10/11-10/20 名古屋市科学館 1 0 / 1 7 表彰式	1) 科学の夢を描く部門 2) 科学工作部門 3) 理科自由研究部門
4. 古川為三郎サイエンス講演会	1 0 / 2 4 名古屋市科学館	講演「生物多様性と動物園にできること」 旭川市立旭山動物園園長 坂東 元 氏

3 表彰等事業

項 目	実施日・場所	内 容
(1) 公設試験研究機関研究者表彰		
ア 選考委員会	8 / 31 センター特別会議室	1. 研究功績者及び指導功労者につき、産業技術総合研究所中部センター所長賞、中部科学技術センター会長賞の選考
イ 表彰式・記念講演会	10 / 27 ポートメッセなごや 交流センター4F 第6会議室	1. 表彰式 産業技術総合研究所中部センター所長賞 [指導功労者] 愛知県産業技術研究所 三河繊維技術センター 大野 博 産業技術総合研究所中部センター所長賞 [研究功績者] 富山県工業技術センター 中央研究所 大永 崇 中部科学技術センター会長賞 [指導功労者] 富山県工業技術センター 企画管理部 石黒智明 [研究功績者] 名古屋市工業研究所 飯田浩史 石川県工業試験場 九谷焼技術センター 木村裕之 愛知県産業技術研究所 食品工業技術センター 石川健一 2. 受賞記念講演会 大野 博 「エコ素材及び機能性織物の開発・指導並びに身障者向け繊維製品技術の開発・指導」 大永 崇 「微細成形用樹脂の研究開発とそれを用いたマイクロチップの実用化」 石黒智明 「アルミニウム陽極酸化皮膜の機能化と陽極酸化処理工程副生物の利用」 飯田浩史 「光合成由来バイオ材料の開発とイメージング」 木村裕之 「九谷焼用無鉛和絵具の開発」 石川健一 「乳酸菌スターターカルチャーによる低温発酵・熟成漬物の開発、ならびに天然系抗菌性素材の開発」
(2) 中部科学技術センター顕彰		
ア 選考委員会		
第1回	9 / 27 名古屋駅前 イベントホール	1. 顕彰制度の概要説明 2. 選考方法の審議について 他
第2回	10 / 12 A P名古屋名駅	1. 顕彰候補者の評価集計について 2. 中部科学技術センター大賞、振興賞、奨励賞の選考
イ 表彰式	12 / 6 名古屋グランドホテル	[表彰者] 1. センター大賞 「冷凍サイクルと吸着技術を融合したハイブリッド除湿技術の開発」 パナソニックエコシステムズ㈱ 堀 達也 藤井 泰樹 勝見 佳正 2. センター振興賞 「冠動脈狭窄部貫通カテーテル“Corsair (コルセア)”の研究開発」 朝日インテック㈱ 下神 学 渡邊 允祥 清水 宏友 「配光可変型前照灯 (A F S) の開発」 ㈱小糸製作所 米山 正敏 松本 明浩 滝口 勉 3. センター奨励賞 「超微結晶ダイヤモンドコーティング工具の開発」 オーエスジー㈱ 羽生 博之 「スギ圧密フローリング『つよスギ』の開発」 マイウッド・ツー㈱ 福山 昌男 「すべての人にやさしいドア「nextera」シリーズの研究開発」 ㈱スギモト創建 杉本 昌之
ウ 顕彰規程等改定諮問委員会	1 / 24 名古屋駅前 イベントホール	1. 顕彰規程、推薦要領、選考基準等の改定について 2. 候補者推薦記入要領の改定について

項目	実施日・場所	内 容
(2) 叙勲、国家褒章、文部科学大臣表彰等		
ア 藍綬褒章		小川王幸 [株式会社デンソー 技監]
イ 文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞		1 アイシン・エイ・ダブリュ㈱ 佐藤宏生 始め4名 2 アイシンエーアイ㈱ 高村保教 始め2名 3 アイシン化工㈱ 石神史敬 始め2名 4 アイシン辰栄㈱ 岩瀬和紀 始め4名 5 アイシン精機㈱ 川野博 始め6名 6 アイシン高丘㈱ 稲野英和 始め5名 7 内浜化成㈱ 野崎真理子 始め2名 8 ㈱ジェイテクト 新保勝史 9 昌和合成㈱ 森下和明 10 中部電力㈱ 池寄健二 始め8名 11 ㈱デンソー 長尾 武 始め3名 12 豊田合成㈱ 太田英雄 始め1名 13 トヨタ自動車株㈱ 按田浩二 始め23名 14 トヨタ車体㈱ 小松勇三 始め14名 15 トヨタ車体精工㈱ 横田譲 始め9名 16 ㈱日本自動車部品総合研究所 近藤健次 始め6名 17 豊和化成㈱ 大嶋靖生 始め3名
ウ永井科学技術財団賞 技術賞		株式会社S P F 赤澤 傑 他2名

4 名古屋市科学館への協力事業

項 目	実施日・場所	内 容
展示品のメンテナンス、説明・案内	4/1～6/31 名古屋市科学館	1. 展示品の維持・保存（約235点） 2. 入館者に対する案内・展示品の説明・実験等 (22年度末累計入館者：417,177人)

5 科学技術団体との支援と連携事業

項 目	実施日・場所	内 容
(1) 化学関係学協会合同事務局	4/1～3/31	次の諸団体および研究会の事務局業務を受託実施 14団体 ・中部化学関係学協会支部連合協議会 ・化学工学会東海支部 ・高分子学会東海支部 ・色材協会中部支部 ・電気化学会東海支部 ・東海化学工業会 ・日本化学会東海支部 ・日本原子力学会中部支部 ・日本分析化学会中部支部 ・日本油化学会東海支部 ・日本接着学会中部支部 ・表面技術協会中部支部 ・有機合成化学協会東海支部 ・日本セラミックス協会東海支部
(2) 個別団体・研究会事務局	4/1～3/31	3団体 ・(社)電気学会 東海支部 ・(社)科学技術と経済の会 名古屋支部 ・日本繊維技術士センター 東海支部

6 総括業務

項 目	実施日・場所	内 容
(1) 理事会 第88回	6/17 名古屋ガーデンパレス	1. 平成21年度事業報告書及び決算報告書（案）について 2. 理事・監事の補充選任について（報告） 3. 役員（副会長・常任理事）の補充選任（案）について 4. 任期満了に伴う評議員の選出（案）について 5. 任期満了に伴う顧問・参与の依頼承認（案）について 6. 平成21年度財団法人JKA「機械工業振興部門」補助事業実施（案）について 7. 公益法人制度改革への対応について
第89回	3/16 名古屋ガーデンパレス	1. 平成23年度事業計画及び収支予算書（案）について 2. 理事・監事の補充選任について（報告） 3. 役員（副会長）の補充選任（案）について 4. 評議員の補充選出（案）について 5. 顧問の補充依頼承認（案）について 6. 平成22年度の事業進捗状況について（報告） 7. 公益法人制度改革に伴う公益認定法人申請について 8. 最初の評議員の選任方法の認可申請書（案）について 9. マイクロメカトロニクス特別会計の貸倒損失について（報告）
(2) 評議員会 第74回	6/17 名古屋ガーデンパレス	1. 理事・監事の補充選任（案）について 2. 平成21年度事業報告書及び決算報告書（案）について 3. 任期満了に伴う評議員の選出（案）について（報告） 4. 任期満了に伴う顧問・参与の依頼承認（案）について（報告） 5. 役員（副会長・常任理事）の補充選任（案）について（報告）

項 目	実施日・場所	内 容
第75回	3/16 名古屋ガーデンパレス	1. 理事・監事の補充選任(案)について 2. 平成23年度事業計画及び収支予算書(案)について 3. 評議員の補充選出(案)について(報告) 4. 平成22年度の事業進捗状況について(報告) 5. 公益法人制度改革に伴う公益認定法人申請について 6. 最初の評議員の選任方法の認可申請書(案)について 7. マイクロメカトロニクス特別会計の貸倒損失について(報告)
(3) 正・副会長会議	1/27 中部電力本店	公益法人制度改革に向けての方針
(4) 企画審議会	12/14 名古屋ガーデンパレス	平成22年度事業計画進捗状況について 平成23年度事業計画概要(案)について
(5) 研究開発委員会	3/1 安保ホール	平成22年度活動報告 平成23年度活動計画(案)について